

中標津町長の西村です。

町民の皆さまには、日頃より新型コロナウイルス感染症対策にご協力をいただき、大変ありがとうございます。

さて、北海道に3度目の緊急事態宣言が発令され、8月27日から9月12日までの間、全道で対策が講じられることとなりました。これを受け、中標津町では、前回の時と同様に、町内の公共施設を休館することとしました。休館する施設と期間等については、町のホームページで公表しておりますのでご確認ください。町民の皆さまのワクチン接種が順調に進んでいる中、大変残念ですが、中標津町は町外からの多くの買い物客などに支えられている地域でもあり、周辺地域の感染状況も見据え判断しましたので、ご理解をお願いします。

この動画撮影の直前、根室管内の市・町長と根室振興局長とでウェブ会議を開催し、管内の感染状況や今後の対策などを協議しました。この中では、不要不急の外出を控え、マスクや手指の消毒など基本的な感染対策を徹底すること、また、ワクチンの効果などを皆さまに訴え、一日も早い収束に向け、管内一丸となって取り組んでいくことが確認されました。

今、根室管内は自宅療養の方を含め、かつてない規模の感染者数となっています。町立中標津病院では、7月12日以降、入院患者は途切れることなく、現在は町外の方を含め7人が入院中となっています。町立病院のコロナの専用病床は16床ですので、病床利用率は44%になります。すでに町立病院へは大きな負担がかかっており、現在、一部の診療科では、初診の患者さんをお断りしたり、診療時間を短縮するなど、外来診療を縮小している状況にあります。地域のセンター病院として、地域医療を守るためにも、管内の感染拡大を一日も早く食い止めなくてはなりません。特に、6月までは高齢者の感染が目立っていましたが、デルタ株への置き換わりとともに若年層への感染が広がっています。また、7月以降はワクチンを打っていない方の感染が目立ち、現在は陽性者のほとんどがワクチン未接種という状況です。

町のワクチン接種ですが、皆さまのご理解、ご協力により順調に進み、総合文化会館での集団接種は9月6日からの一週間を残すのみとなりました。最終的な接種率は、対象である12歳以上の86%となる見込みです。

緊急事態措置では、飲食店に対し、営業時間の短縮や、酒類の提供の時間制限などが要請されています。昨年来、飲食店には度重なる要請で厳しい状況が続いていますが、現在の感染拡大の原因の一つに、陽性者が感染に気付かず飲食店を利用し、そこから広がったというケースも報告されています。飲食店の皆さまには、北海道の要請に基づきご理解とご協力をお願いいたします。

これまで、ワクチンの接種が進めば、確実に感染拡大は抑えられ、安心した暮らしに戻るものとお伝えしてきました。その期待はもちろん今も変わりませんが、新たな変異株の出現により、収束にはもうしばらく時間がかかりそうです。皆さまには、これまでもお願いしてきた基本的な感染防止対策である「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指消毒」をはじめ、「飲酒を伴う懇親会」「大人数や長時間に及ぶ飲食」「マスクなしの会話」といった感染リスクが高まる場面を避ける。また、発生の多い地域との往来を控えるといった基本的な対策を今一度、家庭や職場内で確認していただき、実行してください。特に、若い世代の皆さんには、「無症状だから」「感染しても軽症だから」と思わず、自分自身はもちろん、大切な家族や友人を守るための行動をお願いします。

これからも、町民の皆さまと力を合わせ感染拡大防止に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

令和3年8月28日  
中標津町長 西村 穰